

勝山 岩谷観音祭礼の夏祭り

7月15日(土) コロナ禍で中止になっていた、岩谷観音祭礼の夏祭りが行われました。

久しぶりの祭りの開催で、子どもたちが楽しく、祭り保存会のお囃子演奏に合わせ、屋形を引き、地区内を回りました。勝山公民館では、みたらし団子やかき氷などのバザーが行われ、多くの住民の方が楽しみました。



95歳の長寿を町長がお祝い

柴山町長が、7月10日に95歳のお誕生日を迎えられた鶴飼光昭さん(加茂山2)の長寿をお祝いしました。(7月21日訪問)

柴山町長は「95歳おめでとうございます。まだまだお元気でいてください。」とお祝いの言葉をかけていました。



心が温かくなるよう願いを込めて

7月26日(水) 役場、中央公民館、サンライフさかほぎに小学4年生児童から地域の皆さんへと花を届けてくれました。

この花は、「すみやすいまち 坂祝」について勉強した児童らが便利さを求めるだけでなく、やさしく、心が温かい人が住んでいると住みやすいまちになると考え、地域の皆さんの心が温かくなるようにという願いを込めて育てられたものです。



国際的に貴重な場所

8月2日(水) 取組地内の木曾川河川敷で、第2回アジア古生物学会議に出席されるメンバーの内13人が木曾川右岸のチャート層を視察されました。

九州大学理学研究院の尾上哲治教授が現場を案内。参加者は三畳紀(約2億5190万年から約2億130万年前)の時代の地層を見学されました。

現場には約2億1500万年前にカナダに衝突した隕石の痕跡も。



ミサイル着弾を想定した訓練

8月2日(水) 外国からの弾道ミサイル攻撃を想定した岐阜県国民保護訓練が、県庁と坂祝町を含む5市町で行われました。

訓練では、町内にミサイルが着弾し化学ガスが周囲に散布された想定で行われ、情報収集や住民避難の広報の方法、関係機関との連携を確認しました。

町では災害対策本部が設置され、職員6人と中消防署2人が参加。ミサイル着弾と緊迫した想定に冷静に対処しました。



ブックフェスタ 2023

8月5日(土) 中央公民館において、ブックフェスタが行われました。

今年は、岐阜市の児童書専門店「おおきな木」の店主、杉山三四郎さんによる、絵本を歌って聞かせる『さんしろ絵本ライブ』が1時間にわたり行われ、面白おかしい弾き語りにならせた、子どもたちの合いの手や笑い声で会場は大いに盛り上がりました。

ライブ後には、子どもたちが自分で作る「オリジナルしおり作り」も行われ、シールやマスキングテープなどで思い思いにカラフルなしおりを作った子どもたちは嬉しそうでした。



待ちに待った夏まつり

8月13日(日) 東館において、坂区良を美しくするボランティアの会主催の第12回夏まつり盆踊り大会が開催されました。

お祭りはコロナ禍を経て4年ぶりの開催となり、会場は、お祭りを楽しみにしていた近隣の住民の笑顔と笑い声でいっぱいになりました。途中から大雨が降りだしたため、残念ながら予定より早く切り上げることになりましたが、久しぶりに坂祝の活気を感じられるひと時となりました。



ほのぼののタウンコンサート

8月19日(土) 中央公民館において、第23回坂祝町ほのぼののタウンコンサートが行われました。今年、音楽の力で町民に癒しと活力を届けたのは、トム兼松氏をメインとする5名。

オープニングの第一部では、安西玲子氏と岡崎まゆり氏によるピアノ連弾が披露されました。最終演奏では、ピアノ奏者・安西氏のお母様と友人が、舞台の上からピアノに合わせた手拍子で観客席を盛り上げ、会場はまさに「ほのぼの」とした雰囲気。

メインの第二部では、町屈指のアーティストであるギタリストのトム兼松氏と、ドラマーのマービン・レノア氏(倉木麻衣の全国ツアーに同行するなどの凄腕)による軽快で情熱的なデュオが。後半には、松岡千夏氏のサクソも加わり、迫力のある演奏で会場は熱気に包まれました。



新規転入教職員が町内巡り

8月21日(月) 小・中学校に今年度赴任された教職員15名が、坂祝町の史跡や企業など町内巡りを行いました。これは、坂祝町コミュニティ・スクールが企画した初めての試みでしたが、参加者からは「名所や施設を実際に見たり聞いたりできたことで、坂祝町は教育に優れた素敵な場所だと実感できた」「今回学んだ坂祝の素晴らしさを子どもたちに発信しながら学習に活かしていきます」といった声が聞かれました。

【コース】①坂祝神社～②火塚古墳～③岩屋観音～④小西砕石工業所～⑤子育て支援拠点施設「バンビーニ」～⑥猿啄城山麓武家屋敷跡・氷場～⑦十二社神社～⑧若林煎餅(株)

